

板会
与匠
越後打刃物
『鍛冶職人打刃物の世界』展
2月5日から3日間東京で開催

越後与板打刃物は、戦国時代から400年余の伝統

評価されており、国内では唯一の鉦(ちょうな)の産地として知られている。

越後与板打刃物匠会は2月5日から7日まで東京日

本橋の「ブリッジにいがた」(中央区日本橋室町1-6-5、だいし東京ビル1階)で『鍛冶職人・打刃物の世界』を開催する。

実施内容は製品展示・販売、映像による匠会作家の紹介、新製品TANTONの展示・使用体験などが予定されている。
特別イベントとして包丁研ぎの実演・実施、「ノミ」を使つてのキッツキ体験、「カンナ」の薄削り体験、経節削り体験などを行つて来場の消費者に会場製品をPRする。

SAKAI TAKAYUKI
堺孝行刃物
切れ味が生命!
株式会社 青木刃物製作所

を今に伝える伝統的工芸品。現在は大工道具を主体に製造されており、そのモノ作り技術は国内外から、特にドイツのバイオリン作りのマイスターからは高く